

公益法人奨学会募集状況一覧（平成23年度実績）

○この一覧は、平成23年度に本部奨学厚生課奨学チームで取り扱った公益法人奨学会の募集状況です。平成24年度の募集は、平成24年3月下旬から順次掲示します。（この募集状況一覧と平成24年度の募集内容は異なる場合がありますので、募集の掲示で確認してください。）

○公益法人奨学会の応募方法は次のようになっています。詳細については募集の掲示やホームページで確認してください。

(1) 学内選考を行う奨学会	学内選考で推薦者を決定し、大学から奨学会へ推薦します。 提出書類:「公益法人奨学会願書(内部選考用)」「希望奨学会申請票」 <u>家計の所得関係書類と成績証明書</u> の添付が必要です。 ※募集の掲示及び願書(内部選考用)の配付は平成24年3月下旬から行います。
(2) 直接応募の奨学会	希望者が直接奨学会へ願書を提出します。 提出書類:奨学会が指定するもの ※奨学会から募集要項が届き次第、掲示及び願書配付を行います。
(3) その他の奨学会	上記以外の方法で応募するものです。 ※奨学会から募集要項が届き次第掲示します。応募方法・提出書類については募集の掲示で確認してください。

○教養学部、総合文化研究科、数理科学研究科については応募の取り扱いが異なりますので、教養学部学生課奨学資金係に問い合わせてください。（TEL 03—5454—6076）

平成23年度公益法人奨学会募集状況一覧

※募集する奨学生は、下記出願条件と人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的理由により修学が困難とみとめられる者が対象となります。なお、特に記載がない場合は、日本人学生対象です。
 ※☆の付いている奨学会は、毎年対象の研究科・学部が変わります。

(1) 内部選考を行う奨学会

※出願条件にある学部・研究科は年度により変わるものがあり、平成24年度の予定についても奨学会の依頼等により変更になる場合がありますのでご了承ください。詳細については募集時に最新情報を掲示で確認してください。

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額(円)		募集期
松尾金藏記念奨学基金 ☆	<p>大学院: 文学、哲学、言語学、人文地理学、史学等を学ぶ人文社会研究科修士課程1年次の者で、以下のすべてに該当する認められること。</p> <p>(1) 就学上奨学金の援助を必要とする者。(家族の生計を支える者の前年度年収又は本年度の見込みが原則800万円[税込総収入]以下とする。)</p> <p>(2) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者。</p> <p>(3) 平成23年4月1日現在の年齢が30歳以下の者。</p> <p>支給期間: 正規の最短修業年限まで(年度ごとに継続審査有り)</p>	不可	1	給与	年額100万円 (6カ月ごと支給)	4月
日新製糖奨学育英基金 ☆	<p>学部: 東京都内に居住し、学業・人物ともに優秀かつ健康な学生であって、経済的事情により修学の継続が困難と認められる工学部3, 4年生。</p> <p>※最終学年まで1~2年以内の学生を対象とするため、平成23年度に工学部に高専から編入学する学生は、最終学年まで3年のため、学年が3年生であっても出願できない。</p> <p>※採用が決定した場合には、7月上旬に「贈呈式」および「生活指導・激励のための懇親会」が開催予定ですので出席してください。</p> <p>支給期間: 2011年7月から(4月に遡って)正規の最短修業年限迄</p>	望ましくない (ただし日本学生支援機構は可)	1	給与	30,000円	
山岡育英会	<p>大学院: 農学生命科学研究科修士1年で、以下のすべてに該当する者。</p> <p>(1) 学部時代に学問・研究に意欲的に取り組み、優れた成績を残している者。</p> <p>(2) 将来社会に何らかの貢献が期待できる者の中で、かつ研究生活を維持する上で、経済的な女性が必要と認められる者。</p> <p>・内部選考通過者は、財団による書類審査及び面接選考があります。(5~6月)</p> <p>・奨学生採用証書授与式を6月下旬に開催予定です。</p> <p>支給期間: 平成23年4月から平成25年3月迄</p>	可	1	給与	60,000円	
古河記念基金☆	<p>学部: 以下のすべてに該当する、理学部、工学部、農学部(獣医学課程を除く)、薬学部3, 4年生。ただし金属その他資源関係の学生を優先とする。</p> <p>・日本国籍を有すること。</p> <p>・学業成績や取得単位数が優秀であること。</p> <p>・卒業までの進級が十分見込まれること。</p> <p>・家庭の経済状況については、年収900万円以下であること。</p> <p>支給期間: 正規の最短修業年限迄</p> <p>※奨学生が引き続き次の課程へ進学した場合(例: 学部から修士)にも、全支給期間最長6年間まで支給可能。</p>	可	1	給与	30,000円	

<p>日本証券奨学財団</p>	<p>大学院:心身ともに健康、かつ学業優秀で資質優秀な積極性のある、<u>法学政治学研究科、経済学研究科、公共政策学教育部の修士(専門職学位)課程1年次、または博士課程1年次の者</u>で、下記すべてに該当すること。 (1)学資の援助が必要と認められる者。 ・家計収入が給与世帯で年1,000万円以下、給与世帯以外で年500万円以下とする。 ・本人が一定の職業に従事し生計を維持するに足る収入を得ていないこと。 (2)修士課程の者は25歳以下、博士課程の者は28歳以下であること。 (3)日本国籍を有すること。 (4)財団の各種行事に出席できる者。 ※内部選考通過者は、新年度受診の健康診断書を願書とともに提出していただきます。学内の健康診断を受診後では、間に合いません。提出できない場合は財団の選考において不利になることがありますので外部の医療機関等で各自受診し(自費)、提出することとなります。 ※内部選考通過者は財団による書類選考及び面接選考があります。 支給期間:修士(専門職学位)課程の者は2年間、博士課程の者は3年間</p>	<p>不可(ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>修士・専門職 自宅40,000円 自宅外50,000円 博士自宅45,000円 自宅外55,000円</p>	
<p>三菱UFJ信託奨学財団☆</p>	<p>大学院:<u>農学生命科学研究科、新領域創成科学研究科の修士1年生または博士1年生</u>で、以下のすべてに該当する者。 (1)健康で、学業成績、人物ともに優れている者で、学費の支弁が困難と認められる者。 (2)将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようと志す者、またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 (3)平成23年4月1日現在、満33歳以下であること。 支給期間:正規の最短修業年限迄</p>	<p>可(ただしその内容を届け出ること)</p>	<p>2</p>	<p>給与</p>	<p>50,000円</p>	<p>4月</p>
<p>廣瀬育英会</p>	<p>学部・大学院:富山県下の高等学校を卒業し、平成23年度に学部または大学院に在学している者で、人物、学力ともにすぐれ、かつ健康であって奨学金の貸与が必要であると認められる者。 ※内部選考通過者は、財団による書類選考及び面接選考があります。 貸与期間:2011年7月から(4月に遡って)正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>貸与</p>	<p>学部 30,000円 大学院 40,000円 入学金 100,000円 (学部・院入学時)</p>	
<p>みずほ育英会</p>	<p>学部・大学院:心身健全にして学業成績優秀な学生であり、経済的理由により修学困難な学部3、4年生、<u>修士課程の学生及び法科大学院生</u>。 ※経済的理由により学資の援助を必要とする者とは、保護者の年収(目安)が900万円以下であることをいう。 貸与期間:正規の最短修業年限迄 ※事務局にて直接交付する。</p>	<p>不可(ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>学部1 院2</p>	<p>貸与</p>	<p>学部 50,000円 院 60,000円</p>	
<p>アイザワ記念育英財団</p>	<p>学部:人物、学業ともに優れ、経済的理由により修学が困難であると認められる<u>法学部または経済学部3、4年生</u>で、下記すべてに該当する者。 ・将来、産業・文化両面において社会に貢献しようと志す者。 ・内部選考に通過した場合、5/29(日)の財団による選考会に必ず出席できること。 ・年数回のレポート提出や、研修会への出席をできる者。 支給期間:正規の最短修業年限迄</p>	<p>不可(ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	

<p>オーディオテクニカ奨学会</p>	<p>学部: <u>理学部、工学部の3、4年生</u>で、下記のすべてに該当する者。 ・東京都内に在住する者。 ・健康でかつ学業成績が優秀であり、経済的理由により学費の支弁が困難である者。 ・財団の主催する奨学生生活状況報告会(5/25)、奨学生の集い(11/18)に出席できること。 ※内部選考通過者には財団による書類・小論文選考及び面接選考があります。(5/25) 支給期間: 正規の最短修業年限迄</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>20,000円</p>	
<p>新日本奨学会</p>	<p>学部: <u>学部3年生</u>で学業成績、人物ともに優秀かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者。 ※本奨学会の選考は成績を重視します。 内部選考通過者には、5月18日(水)午後1時に財団による面接があります。 ※採用された奨学生は、奨学会の行う懇親会や面接等に必ず出席して下さい。 給与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>学部2</p>	<p>給与</p>	<p>47,000円</p>	
<p>三谷育英会</p>	<p>学部: <u>法学部、経済学部、工学部、農学部、薬学部</u>の3、4年生で、成績優秀にして、学資に苦慮する学生で、石川県、富山県、福井県出身者であること。 給付期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>52,000円</p>	
<p>春秋育英会☆</p>	<p>学部・大学院: <u>法学部・医学部・工学部</u>に在籍する3、4年生又は情報理工学系研究科修士課程で、心身健全、学力優秀であり、経済的理由により修学困難である者。 ※学部生は修了時の年齢が26歳を超えない者。また、大学院生は修了時の年齢が30歳を超えない者。 ※奨学金は半額が給与、残りの半額が無利子の貸与 給与(貸与)期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>学部3 院2</p>	<p>給与 +貸与</p>	<p>自宅20,000円 自宅外25,000円</p>	<p>4月</p>
<p>岩井久雄記念東京奨学育英基金</p>	<p>学部・大学院: <u>理工学分野の理系の学部3年生、修士1年生(薬・医・獣医を除く)</u>で、学業成績、人物ともに優秀かつ健康であり、学費の支払いが容易ではない者 ※最終学年までの2年間に在籍する者を対象とするため、高専からの編入学生は、2010年度に編入学し、2011年度に3年生2年目の者に限る。 ※本奨学会の選考は成績を重視します。 給与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可(ただし貸与は可)</p>	<p>学部1 院1</p>	<p>給与</p>	<p>100,000円</p>	
<p>森安大学院生奨学基金☆</p>	<p>大学院: <u>工学系研究科</u>に在学中の博士課程学生で、学業優秀でありながら経済的な理由から修学困難な者。 ※指導教員による推薦を受けられる者。 ※内部選考通過者には、奨学基金設立者に関する記事の感想文、研究業績、及び研究計画書の提出が必要となります。 給付期間: 採用時(8月予定)から正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可(ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>40,000円</p>	
<p>味の素奨学会</p>	<p>学部・大学院: <u>化学をはじめとする理系の全般の学科を専攻とする者</u>で成績抜群にして身体強健、志操堅固な学部3、4年生または大学院生 貸与期間: 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>1</p>	<p>貸与</p>	<p>学部 自宅30,000円 自宅外35,000円 院 自宅40,000円 自宅外45,000円</p>	

<p>フジシールパッケージング教育振興財団</p>	<p>大学院:学業優秀で、パッケージングに興味・関心があり、チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ修士課程1年生。 【専攻分野】応用化学(プラスチック製品)、機械工学、電気電子工学、高分子工学等の工学系およびデザイン関係</p> <p>給与期間:正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可(ただし日本学生支援機構は可)</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>院60,000円</p>	<p>4月</p>
<p>ナカベ 中部奨学会</p>	<p>学部・大学院:人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由により著しく修学が困難な者</p> <p>貸与(給与)期間:正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p>	<p>0</p>	<p>学部・修士:貸与 博士:給与</p>	<p>学部35,000円 修士60,000円 博士50,000円</p>	
<p>吉田育英会 〈マスター21〉 予約採用</p>	<p>学部:2011年9/10月または2012年4月に大学院自然科学系分野(医学・歯学・獣医学を除く)の研究科修士課程に進学を希望する理、工、農、薬学部学生で次のすべての項目に該当する者 (1)学業成績が優秀な者 ※本奨学会の選考は、経済的な困窮度よりも、成績を重視します。 (2)大学院進学のための意識を明確に持つ者 (3)成果の社会還元を志を有し、影響力を期待できる者 (4)リーダーとしての資質を有する者</p> <p>※進学先大学院は東京大学大学院でなくても構わない。 ※年齢は30歳未満が望ましい。 ※この奨学金は大学院に進学を希望する学部学生に対し、修士での学校納付金の同額を給与する奨学金制度です。採用になった場合、修士課程での入学料・授業料免除制度は受けられません。</p> <p>給与期間:修士課程での2年間</p>	<p>給与:不可 貸与:可 学費を支給する奨学金との重複も不可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>月額8万円 または 修士課程での学校納付金(入学料・授業料)の実費(250万円を限度とする)</p>	
<p>日揮・実吉奨学会(給付)</p>	<p>学部・大学院:理工系(農・獣医・水産学系も含み、医・歯・薬学系は除く)学科、専攻の学生で、人物・学力ともに優れ、かつ健康であって、経済的に奨学金の給与が必要であると認められる者。 ※申請時の年齢が満30歳未満であること。</p> <p>給付期間:1年間(年一括)</p>	<p>不可(ただし貸与は可)</p>	<p>学部1 大学院4</p>	<p>給与</p>	<p>年額300,000円</p>	<p>5月</p>
<p>尚志社</p>	<p>大学院:大学院修士課程1年生で次の(1)と(2)の基準を満たす者で経済的理由により就学が困難な者 (1)学業成績が優秀な者 (2)当該財団が定期的実施する社友懇談会に出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者</p> <p>給与期間:修士課程での2年間</p>	<p>不可</p>	<p>1</p>	<p>給与</p>	<p>月額27,000円(自宅) または 月額36,000円(自宅外) 修士課程での学校納付金(入学料・授業料)の実費を限度に支給する)</p>	

野間文化財団☆	<p>大学院: <u>人文社会系研究科修士1年生</u>で、健康で学業に熱意がありながら、教育費不足の者。 ※推薦者には専攻している分野についての論文提出の必要があります。 ※財団による面接選考があります。</p> <p>給付期間: 平成23年6月～平成25年3月まで</p>	可	1	給与	30,000円	
川村育英会	<p>大学院: 修士課程1年次に在学する学業優秀にして身体健康な者 給付期間: 2011年8月から正規の最短修業年限まで</p>	可	1	給与	50,000円	5～6月
岩垂奨学会	<p>大学院: <u>理学系研究科、工学系研究科、医学系研究科、薬学系研究科</u>の学生 ※下記の者は申込みできません。 ・留年者 ・10月入学等で今年度途中修了する者。 ・過去に岩垂奨学会から奨学金の給付を受けていた者。</p> <p>※奨学生に採用された者は学年末(1月頃)に研究経過報告書及び生活状況報告書の提出が必要です。</p> <p>給付期間: 平成23年4月～平成24年3月</p>	可	理8 工7 医4 薬3	給付	年額41万～45万円	6月
オーディオテクニカ奨学会(追加募集)	<p>学部: <u>理学部、工学部3、4年生</u>で下記のすべてに該当する者。 ・東京都内に在住する者。 ・健康でかつ学業成績が優秀であり、経済的理由により学費の支弁が困難である者。 ・財団の主催する奨学生生活状況報告会(5月)、奨学生の集い(11/18)に出席できること。 * 内部選考通過者には財団による書類・小論文選考及び面接選考があります。 (7/19もしくは7/20AM) 支給期間: 正規の最短修業年限まで</p>	可	1	給与	20,000円	
大学女性協会	<p><一般奨学生> 大学院: 修士(専門職学位)課程2年次以上、または博士課程に在籍する女子学生で、人物・学力ともに優れた者。</p> <p><社会福祉> 学部・大学院: 学部2年生以上、修士(専門職学位)課程2年次以上、または博士課程に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。</p> <p><安井医学> 大学院: 医学、薬学、看護学などを専攻する、修士(専門職学位)2年次以上、または博士課程に在籍する女子学生で、人物・学業ともに優れた者。</p> <p>給与期間: 1年限り ※過去に大学女性協会からの奨学金を授与された者は、再応募することができない。</p>	可	一般1	給与	一般奨学生 大学院 年額20万円 社会福祉奨学生 学部 年額10万円 大学院 年額20万円 安井医学奨学生 大学院生 年額30万円	7月

<p>帝人奨学会 ＜博士予約＞</p>	<p>大学院:理学系、工学系、農学生命科学、医学系、薬学系、新領域創成科学、情報理工学系研究科、学際情報学府の下記分野を専攻している修士2年生で、2012年4月に博士課程に進学することが決定(見込みも可)している者又は2011年9月以降に博士課程に進学している者。 ＜分野＞理工学系(化学、物理、数学、材料等)、医学・薬学系、工学系(電気・電子工学、機械等)、情報学系(情報システム、電子システム等)、バイオ学系(バイオ、生物、環境等)</p> <p>※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 ①第一次選考:書類選考 ②第二次選考:専門面接(上記の分野ごとに研究概要プレゼン、質疑応答) 10～11月に実施 ③最終選考:選考委員による面接 11月下旬に実施</p> <p>※卒業後、帝人奨学会指定の大学研究機関等(旧日本育英会が指定した機関に準ずる)で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還が免除されます。</p> <p>貸与期間:2012年4月～正規の最短修業年限まで</p>	可	1	貸与	100,000円	8～9月
<p>帝人奨学会 ＜修士予約＞</p>	<p>大学院:下記分野を専攻している学部最終学年の者で、2012年4月に修士課程に進学することが決定している者。 ＜分野＞医学・薬学系、バイオ学系(バイオ、生物、環境等)理工学系(化学、物理、数学、材料等)、工学系(電気・電子工学、機械等)、情報学系(情報システム、電気システム等)</p> <p>※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 ①第一次選考:書類選考 ②第二次選考:専門面接(上記の分野ごとに研究概要プレゼン、質疑応答) 4～5月に実施 ③最終選考:選考委員による面接 6月8日(金)に実施</p> <p>※卒業後、帝人奨学会指定の大学研究機関等(旧日本育英会が指定した機関に準ずる)で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還が免除されます。</p> <p>貸与期間:2012年8月(4月に遡って)～正規の最短修業年限まで</p>	可	0	貸与	80,000	2月
<p>電通育英会 ＜修士予約＞</p>	<p>大学院:2012年4月に東京大学大学院修士課程に進学見込みの学部4年生で、下記のすべてに該当する者。 (1)主に社会科学、人間科学、情報科学を専攻する者。(但し理工科系は除く) (2)学部成績について優あるいは優相当以上の評価が全体の70%以上であること。 (3)学費の援助が必要な者。 (4)応募時の年齢が30歳未満であること。</p> <p>支給期間:修士課程在学中、最長2年間</p> <p>※内部選考通過者は、「研究計画書」を提出する必要があります。 ※内部選考通過者は、財団による面接選考があります。(3/9) ※採用された奨学生は、財団が開催する「大学院生定例面談・セミナー」(年2回)に出席すること。</p>	不可(日本学生支援機構のみ可)	0	給与	80,000	

吉田育英会 〈ドクター21〉 予約採用	<p>大学院:2012年4月現在東京大学大学院修士課程に在学しており、2012年10月または2013年4月に大学院博士課程(標準修業年限3年)に進学を希望する者で次のすべての条件に該当すること</p> <p>(1)学術研究のレベルが高い者 ※本奨学会の選考は、経済的な困窮度よりも、成績を重視します。</p> <p>(2)博士課程の目的を達成できる者</p> <p>(3)成果の社会還元を志を有し、影響力を期待できる者</p> <p>(4)リーダーとしての資質を有する者</p> <p>(5)進学先大学院において自然科学系を研究分野にしている者</p> <p>※進学先大学院は東京大学大学院でなくても構わない。 ※年齢は35歳未満が望ましい。 ※指導教員の推薦を受けられる者 ※当会奨学金受給を第一志望とする者が望ましい。</p> <p>※内部選考で推薦された者に対し、奨学会は次の選考を行います。 ①第一次審査:書類選考 ②第二次審査:面接選考 2012年6月6,7日 実施予定 応募者によるプレゼンテーションを含む。</p> <p>※この奨学金は大学院博士課程への進学希望者に、博士課程での学校納付金の同額を給与する奨学金です。採用になった場合、博士課程での入学料・授業料免除制度は受けられません。</p> <p>給与期間:博士課程での3年間</p>	給与:不可 貸与:可 学費を支援する奨学金との重複も不可	未	給与	200,000円及び学校納付金(250万円以内)	2~3月
---------------------------	---	------------------------------------	---	----	--------------------------	------

(2)直接応募の奨学会募集について

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額	募集期	
沖縄県国際交流・人材育成財団	<p>次の全ての項目に該当する学部生、大学院生</p> <p>(1)沖縄県内に住所を有する者の子弟</p> <p>(2)学業成績が、学部2年生以上:大学のGPAが3.0点以上であること。大学院1年生:最終学歴のGPAが3.0以上であること。大学院2年生以上:大学院のGPAが3.0以上であること。</p> <p>(3)日本学生支援機構、地方公共団体又は民間育英団体等からの奨学金、母子及び寡婦福祉法による修学資金の貸与を受けていない者</p> <p>貸与期間:平成23年4月から正規の最短修業年限まで(ただし、毎年度継続審査があります。)</p>	不可	-	貸与	学部45,000 修士70,000 博士80,000	3月
公益信託池田育英会トラスト	<p>学部・大学院:愛媛県内の高等学校を卒業している者、または保護者が愛媛県内に居住している者で、つぎの要件を満たすこと。</p> <p>・学部2年生以上または大学院に在学する者。</p> <p>・学業・人物ともに優秀で経済的支援の必要な者。</p> <p>支給期間:正規の最短修業年限迄</p>	可	-	給与	17,000	

守谷育英会	学部・大学院: 学業、人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者。 支給期間: 正規の最短修業年限迄 ※書類選考通過者は、6/16~17に面接選考があります。	可	3	給与	100,000円	4月
柏会 三宅シツ奨学金	学部・大学院: 次のいずれかに該当する女子学生 (1) 本人が広島県に住んでいた者 (2) 本人が広島県の高等学校を卒業した者 (3) 両親のいずれかが、広島県人である者 ※書類選考と面接選考があります。 貸与期間: 正規の最短修業年限まで	可	-	貸与	40,000円	5月
芸備協会	学部: 広島県出身者で、学習状況が良好であり、勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難と認められる学部生。 貸与期間: 正規の最短修業年限まで	可	-	貸与	20,000円	
本庄国際奨学財団 日本人大学院生奨学金	大学院: 2012年4月1日以降に国内の大学院(修士・博士課程)に在籍している(または入学が許可されている)者。 ・博士課程学生は1976年3月31日以降に生まれた者、修士課程学生は1981年3月31日以降に生まれた者。 ・専攻分野は問わないが、国際親善に理解を持ち、貢献を期する者。 ※奨学金受給中はティーチングアシスタント、リサーチアシスタントなど学業に関するアルバイト以外の就労はしてはいけない。 給与期間: 2012年4月~最短修業年限まで	不可	未	給付	15万円 18万円 20万円	10月

(3) その他の奨学会

*東日本大震災被災者対象

奨学会名	出願条件等	他奨学会との重複	採用者数	奨学金月額	募集期
松尾奨学会*	学部: 東北関東大震災被災家庭の学部生のうち学資などの援助が必要な家庭事情のある男子学生。 給付期間: 学部学生の間	特例で可とする	0	給付 ○入学金・授業料・通学費の無償給付 ○学生寮への無償入寮	4月
あしなが育英会	学部: 保護者が病気や災害(道路における交通事故を除く)、もしくは自死(自殺)などで死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害を負い、修学が困難な学部生 ※保護者が死亡したり後遺障害になったときの子どもの年齢が20歳以上の場合は対象になりません。 貸与期間: 正規の最短修業年限まで	可	学部1院1	貸与 40,000円	
あしなが育英会*	学部・研究科: 東日本大地震・津波で保護者が死亡あるいは行方不明または著しい後遺障害を負った学部生、大学院生。	可	-	一時金(給与) 貸与 400,000円 40,000円	

<p>日本国際教育支援協会 三菱商事緊急支援奨学 金(東日本大震災)*</p>	<p>学部・大学院:平成23年4月現在、日本国内の大学学部及び大学院修士課程に在籍する正規学生で、本震災で被災し、家計を支える方が失業・破産・自己・病気・行方不明・死亡等の被害を受け、経済的事由により就学が困難な状況が見込まれる学生。(要:罹災証明書提出)</p> <p>給与期間:1年</p>	<p>不可</p>	<p>学部1 院1</p>	<p>給与</p>	<p>月額10万円</p>	
<p>山根奨学基金</p>	<p>学部・大学院:日本女性であって、学業・人物ともに優秀であり、かつ山根奨学基金設立の趣旨に合致すると認められる学生。</p> <p>給与期間:1年限り</p> <p>※推薦者は、7/23(土)に基金による面接選考があります。</p> <p><財団法人山根奨学基金について> 日本初の女性外交官として、日本および諸外国の人々からも、その将来に大きな期待をかけられながら惜しくも飛行機事故の犠牲となった山根敏子さんを記念して設立されました。この奨学基金は、山根さんの遺志を継ぐ女子学生のうち、特に国際問題に関心を持つと同時に将来、世界人類の平和と幸福に貢献するため、国際社会において活躍する意思と情熱を持つ女性を育成し、その勉学の一助となること目的として設立されたものです。</p>	<p>可</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>年額30万円</p>	<p>5月</p>
<p>全労済</p>	<p>大学院:法学政治学研究科及び経済学研究科博士課程に在籍する学生で、下記すべてに該当する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績・人物ともに優秀かつ健康であり、学費の援助が必要な者。 ・研究テーマとして、協同組合、共済等を設定できる者。 <p>※6月中旬以降に面接等選考があります。 ※奨学生となった者は、共済および協同組合等の研究(研究レポートの提出等)を義務付けられています。</p> <p>給付期間:1年限り</p>	<p>可</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>年額60万円</p>	<p>5~6月</p>
<p>尚志社*</p>	<p>学部:3年生 大学院:修士課程1年生、または博士課程1年生</p> <p>下記の基準を満たす者 (1)東日本大震災で被災し、経済的事由により就学が困難な状況が見込まれる学生(要:罹災証明書提出) (2)学業成績が優秀な者 (3)当該財団が定期的実施する社友懇談会に出席でき、また、受給期間通じて最低1回、機関誌「尚志」に必ず寄稿できる者</p> <p>給与期間:正規の最短修業期間</p>	<p>不可 (ただし貸与は可)</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>学部:月額34,000円(自宅外) 学校納付金(授業料)の実費を限度に支給する 大学院:月額36,000円(自宅外) 学校納付金(入学金・授業料)の実費を限度に支給する</p>	<p>6月</p>
<p>日本国際教育支援協会 双日復興支援教育基金 *</p>	<p>学部:平成23年4月現在、日本国内の大学学部等に在籍する正規学生で、本震災により家計を支える方が被害を受け、経済的に就学継続が困難な学生。(要:罹災証明書提出)</p> <p>給与期間:2011年4月より正規修業年限まで</p>	<p>不可 (ただし貸与は可)</p>	<p>0</p>	<p>給与</p>	<p>月額7万円</p>	<p>6~7月</p>

<p>日本国際教育支援協会 ジョンソンコントロールズ 奨学基金*</p>	<p>学部:理学部、工学部、3、4年生 大学院:理学系研究科、工学系研究科、新領域創成科学研究科 修士課程 上記いずれかに在籍し、以下のすべてに該当する者。</p> <p>(1)東日本大震災により家計を支える方が被害を受け、経済的に就学継続が困難な学生。(要:雇 災証明書提出)</p> <p>(2)奨学生交流会(2011年8月31日予定)およびジョンソンコントロールズ株式会社における最低1 週間のインターンシップ(2011年12月中旬~2012年1月中旬)に参加できる者。</p>	可	0	給与	月額5万円	8月
<p>財団法人 リソー教育 岩佐財団*</p>	<p>学部・大学院:学部及び修士課程、専門職課程いずれかに在籍し、 東日本大震災の被災県出身者で、経済的に就学が困難となった者。</p> <p>給与期間:1年間(年一括)</p>	不可	0	給与	年額36万~ 48万円	
<p>浦上奨学会</p>	<p>大学院:広島県出身者で、2012年4月に大学院へ入学する者。</p> <p>貸与期間:正規の最短修業年限まで</p> <p>※内部選考通過者は、財団による面接選考があります。</p>	可	0	貸与	5万、 6万、 7万、 8万円 から選択	10月
<p>あしなが育英会 (一時金増額)*</p>	<p>学部・研究科:東日本大地震・津波で保護者が死亡あるいは行方不明または著しい後遺障害を 負った学部生、大学院生。</p>	可	0	一時金 (給与) 貸与	1,500,000円 学部:40,000円 大学院:80,000円	4~翌2 月